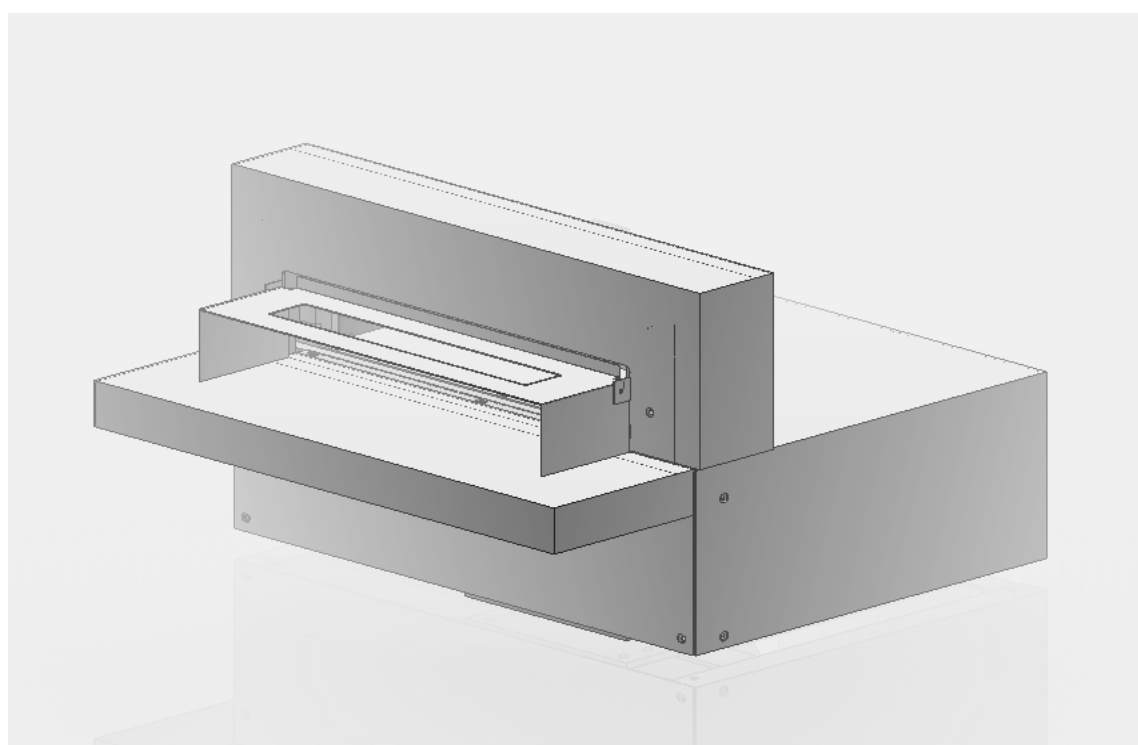


取扱説明書

電動裁断機

CE-43DX・CE-40DX・CE-31DX



この度はMAITZ製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本機をお使いになられる前に必ずご一読頂き、
安全・快適にご愛用くださいますようお願い申し上げます。
又、この取扱説明書は製品と一緒に大切に保管ください。

MAITZ[®]**<安全はマイツのこころ>**

■安全にお使いいただくために



裁断機をお使いになる前に必ずこの取扱説明書を良くお読みになり、安定した場所にて安全な操作をされますように、各種注意事項をご理解の上、作業を行ってください。
※この取扱説明書は製品と一緒に大切に保管して下さい。



機械はお子様手の届かない場所に設置してください。尚、お子様には決して機械の操作をさせないでください。



裁断刃の下にはいかなる場合でも決して手を入れないでください。クリーニングやメンテナンス作業でどうしても刃や受木の部分に手指を近づける場合には電源をお切りになり、尚且つ裁断刃が上部に収納されていることを確認してから作業を行ってください。

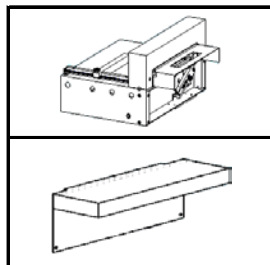


裁断刃には決して直接、身体（手・指等）を触れないでください。裁断刃を取り出す場合や運搬する場合には、必ず専用の保護ケースか十分な安全性が確保できる保護容器に収納してください。又、予備の替刃を保管する場合にも上記と同様に収納し、尚且つ十分な安全性が確保できる場所に保管して下さい。



この裁断機は、普通紙（上質コピー用紙64g/m²）を任意の寸法に裁断する目的で設計・製造されておりますので、硬質の素材や木片・金属片等のようなものは絶対に裁断しないでください。身体の怪我、裁断機の故障・破損の要因になります。

■製品構成

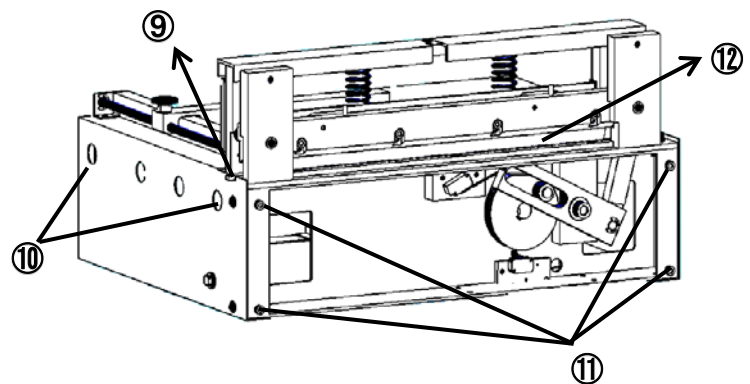
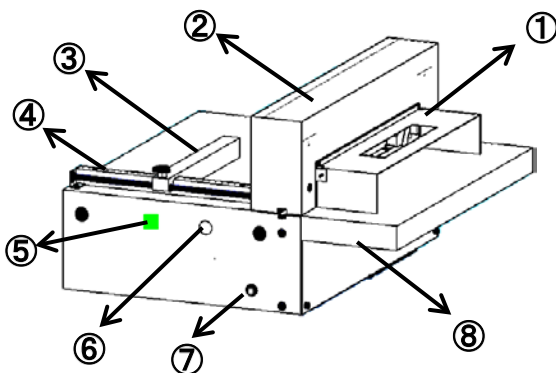


本体 1台
補助台盤 1枚

- ・取扱説明書 1部
- ・保証書 1枚
- ・カギ 2本

六角レンチ	31DX	40Dx	43DX
3mm	○	○	○
5mm	○	○	○
6mm	○	×	×

■部品図



- ① 安全カバー
- ② カバー
- ③ 移動定規
- ④ 当枕
- ⑤ パイロットランプ
- ⑥ キーシリンダー
- ⑦ プロテクター
- ⑧ 補助台盤
- ⑨ 受木
- ⑩ カットボタン
- ⑪ 補助台盤止ネジ
- ⑫ 裁断刃

カギの差し込み方法

ギザギザの側が上になるようにシリンダーに差し込んでください。誤った方向で差し込みますと故障の原因となります。

■補助台盤の取り付け

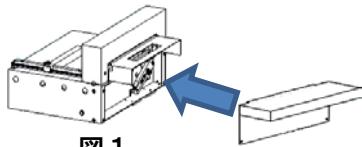


図1

■ご使用方法

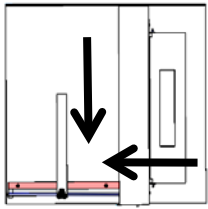


図2 (真上から見た図)

こちらの製品は開梱後、補助台盤の取り付けが必要となります。本体設置後、図1を参照して頂き、付属のL字型六角レンチを使用し補助台盤を本体に取り付けてください。取り付けに必要な補助台盤止ネジ及びワッシャーは本体に装着されたままになっております。一旦ボルト類を取り外し後、台盤を固定してください。

- 1) コンセントを差し込みます。
タコ足配線は避けてください。
(裁断能力の低下・事故の可能性あります)
- 2) 寸法あわせ
移動定規の固定ネジをゆるめて、必要な寸法に定規を合わせます。
- 3) 用紙セットのセット
裁断用紙をキチンと揃えて台盤上に載せます。
図2を参照して頂き、矢印の方向に裁断用紙を押し当ててください。

- 4) 電源を入れる
キーをキーシリンダーに差し込み台盤の指示通りに回します。
電源ランプが緑色に点灯し、裁断が可能となります。
キーは上下間違わないように差し込んでください。
間違えますと、故障の原因となります。(部品図参照)

- 5) 裁断
安全カバーをしっかりと下げ、周りに人がいない事を確認後
図3を参照して頂き、両手でカットボタンを同時に押します。
裁断後、裁断刃が一番上の位置で停止するまで押続けてください。
安全カバーを上げ用紙を取り出し、完了となります。

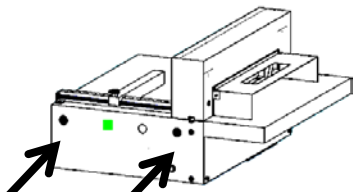



図3

 **裁断時は裁断刃・駆動部のそばに、手や体が無いことを確認してから動かして下さい。**
裁断時は周りに人が居ないことを確認し、必ずお一人で動かして下さい。
注意事項を必ずお守りください。
寸法あわせ、用紙のセットを慎重に行うことによって、寸法ズレが起こりにくくなります。

■カットランプについて

カットランプをご使用になることにより、裁断の目安がつきやすくなる便利な機能です。
電源を入れることによりランプは自動的に点灯します。
尚、表示されるラインはあくまで目安のため、正確に裁断されるには当枕のスケールをご使用ください。
CE-43DX・・・ LEDランプ
CE-40DX・31DX・・・ 白色電球 (110V15W G18 口金B15D)

■日々のメンテナンス


・裁断刃・受木は消耗品です。

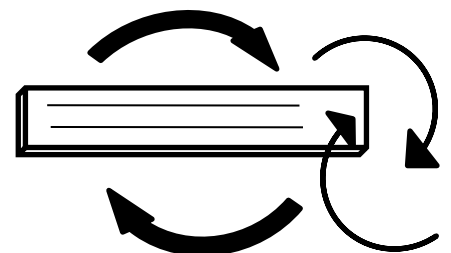
裁断刃・・・約1500回の裁断毎での研磨・交換が必要です。(上質コピー用紙64g/m²)
但し、回数はあくまで目安のため裁断する用紙によって大きく異なりますので、ご注意ください。

受木・・・切れ残りが出るようになりましたら受木の面を交換してください。
受木は数十回の裁断で刃のあたる部分が摩耗しますので
回転又は反転して新しい面に変えてください。(1本で2面2箇所使用する事ができます。)
受木は右奥の溝にマイナスドライバー等を差し込み
持ち上げると楽に取り外せます。
その際、裁断刃に触れないようご注意ください。

・給油・ネジの緩みのチェック

駆動部・刃止ネジをチェックして頂き、
必要であれば給油(グリス)・締直しをしてください。

 特に裁断機の特性上、刃止ネジは緩みやすくなっております。
緩んだ状態でご使用を続けられますと裁断機の故障に繋がります。
定期的(1か月程度)な締め付けを推奨いたします。



受木の面変更

■裁断刃の交換方法

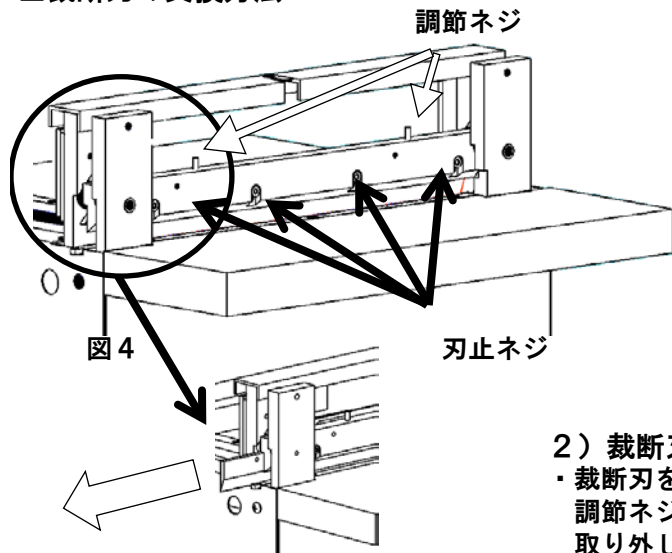


図5 裁断刃の引出方向

(調節ネジは90度づつ回して下さい)

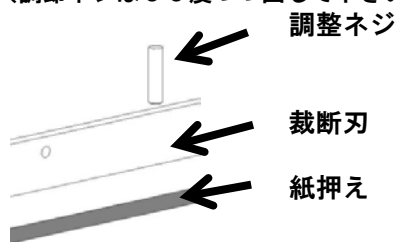


図6 裁断刃と調整ネジの構造

1) 裁断刃の取り外し方法 (図4)

- ・メカカバーを取り外します。
カバー止ネジ(2本)を外し、カバーを上を持ち上げます。
- ・刃止ネジ4本を取り外します(CE-31DXは3本)
そのうち一番右は柱の内部に隠れている為一度電源を入れカットボタンを押しネジが露出したタイミングを見計らってキーを回して電源を切るとネジが回せます。
- ・裁断刃を左から引き出します。(図5)
その際、裁断刃の刃先が台盤に当たらないよう注意して下さい。
刃欠けの原因となります。

2) 裁断刃の取り付け方法

- ・裁断刃を仮止めします。
調節ネジを逆時計回しで緩め、上に飛出させます。(10~15mm程度)
取り外し方法と逆の手順で新刃又は研磨済刃を差し込み、裁断刃を上を持ち上げながら、刃止ネジを仮止めします。
仮止め後調節ネジを軽く止まるまで時計方向に回します。
- ・調節方法
用紙を裁断し、切れ残りが出るようなら刃止ネジを少し緩め調節ネジを再度時計回しで回し、裁断刃を下に押し下げます。
受木に食い込みすぎる場合は、逆に反時計方向に回し、刃を持ち上げます。
2本のネジを上手に調整し、最終的に裁断刃が平行になりますようにします。

・調整のポイント

裁断刃と調整ネジの内部構造は、図6のとおりになっております。
調節ネジを深く押込む事により裁断刃をより深く下げ、
逆に調整ネジを上を引上げる事により裁断刃を上を上げます。
但し上に上げる場合、ネジのみ上げても裁断刃は上に上がりません。
刃止ネジを持ち上げながら刃ごと上に上げてください。



裁断刃を下げる場合、安全の為、絶対に紙押えより下に出ないように調整ください。

■困った時には

トラブルの内容	原因	対応
切れ残りが出る 又は 部分的に切れのこる	受木の溝が深くなった	受木の面を新しい面に変えてください。
	刃先が摩耗した	裁断刃の研磨・交換をしてください。
	刃の調整が甘い	裁断刃の交換方法を参照に、調節を行ってください。
電源が入らない	コンセントが抜けている	コンセントを差し込んでください。
	キーがONになっていない	キーをONに回して下さい。
動かない	プロテクターが飛び出ている	電氣的・機械的の負荷がかかりますとプロテクターが飛び出ます。 暫く経ってからプロテクターを押し込んでください。

その他ご不明な点がございましたら、製品名・保証書をご確認のうえ
ご購入された販売店、又は弊社相談窓口へご連絡ください。

■サービスについて

本取扱説明書及び「困った時には」をご確認いただいても異常がある場合には
お買い上げ頂きました販売店にご相談ください。
その際保証書をお持ちいただくか、製品名及びお客様のご連絡先を分かるようにご相談ください。

株式会社 **マイツ・コーポレーション**

〒321-0131 栃木県宇都宮市宮の内1-175

Tel: 028-653-0656

Fax: 028-653-1711

Hp://www.maitz.jp

個人情報のお取扱について

修理等にてご登録頂きましたお客様の個人情報は
弊社にて厳重に管理いたしますが、
修理の為弊社委託の修理業者へ提出する場合がございます。
その場合は弊社が厳重に管理いたしますのでご了承ください。

<安全はマイツのこころ>